

標準委員会 第8回システム安全専門部会議事録

1. 日 時 2009年12月4日（金） 14：00～15：50
2. 場 所 第5東洋海事ビル 会議室A, B
3. 出席者（敬称略）
 - （出席委員） 関村（部会長），平野（副部会長），阿部（弘），勝村，三島，野中，福谷，文能，益子，工藤，谷川，劔田，阿部（守），西川，瀧口，黒村，菅野，中村（隆）（18名）
 - （代理出席委員） 矢野（河井代理），高野（松岡代理），橋本（及川代理）（3名）
 - （欠席委員） 内田，木下，大嶽（3名）
 - （常時参加者） 中村（年）（1名）
 - （傍聴者） 中川，山田，笠原（3名）
 - （事務局） 岡村
4. 配付資料
 - STC8-1 前回議事録（案）
 - STC8-2 人事について
 - STC8-3-1 「原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補）」（案）決議投票の結果について
 - STC8-3-2 原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定（追補）について（案）
 - STC8-3-3 原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補案）
 - STC8-3-3（別冊） 原子力発電所の高経年化対策実施基準（附属書A抜粋）
 - STC8-4-1 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－ほう素（案）」の決議投票の結果について
 - STC8-4-2 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－ほう素（案）」標準委員会書面投票コメント対応表（案）
 - STC8-4-3 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－ほう素（案）」
 - STC8-4-4 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－ほう素（案）」新旧比較表
 - STC8-5-1 【中間報告】「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 - 溶存水素：200*」（案）について
 - STC8-5-2 「PWR化学分析標準－溶存水素」に係るコメント対応一覧表（第6回専門部会）
 - STC8-5-3 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 - 溶存水素：200*」（案）
 - STC8-5-4 「PWR 溶存水素分析標準に関する補足説明資料
 - STC8-6-1 【中間報告】「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 - 放射性よう素：200*」（案）について
 - STC8-6-2 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 - 放射性よう素：200*」（案）
 - STC8-6-3 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 - 放射性よう素：200*」（案）説明資料

- STC8-6-4 PWR 放射性よう素分析標準に関する補足説明資料
STC8-7 炉心燃料分科会の設置について(案)
STC8-8 分科会の活動状況について

参考資料

- STC8-参考 1 システム安全専門部会委員名簿
STC8-参考 2 標準委員会の活動状況について

5. 議事内容

議事に先立ち、事務局より、開始時点で委員24名中代理委員を含めて21名が出席しており決議に必要な定足数（16名以上）を満足している旨報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（STC8-1）

事務局より、本日配布した議事録（案）は委員に事前送付し、微細な修正のみ行った旨説明があり、議事録（案）は承認された。

(2) 人事について（STC8-2）

① 分科会

・委員の退任【報告事項】

a) PLM分科会

坂下委員の退任が報告された。

b) 水化学分科会

仲田委員の退任が報告された。

・委員の選任【承認事項】

a) PLM分科会

新たに今村 光孝氏が選任された旨紹介され、審議の結果承認された。

b) 水化学分科会

新たに坂本 博司氏が選任された旨紹介され、審議の結果承認された。

(3) 「原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補案）」の書面投票結果の審議（STC8-3-1～3）

事務局より、資料STC8-3-1に基づき部会書面投票の結果可決された旨報告した後、文能委員（PLM分科会・幹事）より、資料STC8-3-2～4に基づき、書面投票時のコメントへの対応（案）の説明が行われた。

審議の結果、コメント対応（案）並びに標準原案の修正（案）が承認され、修正した標準原案を標準委員会に本報告することが決議された。

(4) 「PWR化学分析標準－ほう素（案）」標準委員会書面投票結果の審議（STC8-4-1～4）

事務局より、資料STC8-4-1に基づき標準委員会書面投票の結果可決された旨報告した後、水化学分科会の中村(孝)幹事より、資料STC8-4-2～4に基づき、書面投票時のコメン

トへの対応（案）の説明が行われた。

審議の結果、コメント対応（案）並びに標準原案の修正（案）が承認された。

主な質疑等は以下の通り。

- ・ JEAC4111については、既に制定されているので、内容を確認し、発行が間に合うようなら2009年版を引用すること。

(5) 「PWR化学分析標準－溶存水素－（案）」及び「PWR化学分析標準－よう素－（案）」の中間報告（STC8-5-1～4，8-6-1～4）

水化学分科会の中村幹事より、資料STC8-5-1～6-4を用いて、「PWR化学分析標準－溶存水素－（案）」及び「PWR化学分析標準－よう素－（案）」について、9月の中間報告時のコメントへの対応（案）の説明が行われた。

審議の結果、なるべく本日のコメントに対応することを前提に、標準委員会に中間報告を行うことが決議された。

主な質疑等は以下の通り。

- ・ 測定機器は、ある特定のメーカーの特殊な機器ではないのか。
 - 特別な機器ではない。
- ・ よう素の測定が週1回となっているが、損傷時はどうなのか。測定間隔と測定時間が長すぎることは無いのか。
 - 損傷時には濃度に応じて頻度を増やす。分析は数時間でできるが、問題は無い。
 - 測定時間について標準に規定する必要は無いのか。補足説明資料の要求事項に“迅速に簡便に”と書いてある。
 - 本標準は測定の指針であり、管理指針で記載すべきと考えている。
 - 管理指針が先にあれば良いが、そうではないので何らかの記載が必要。
 - 検討したい。
- ・ 溶存水素の測定で、15%の要求精度に対して、結果として10%の精度で測定できるとなっている。要求を満足していることを解説に明記してはどうか。安全との関係が明確になる。よう素も同様である。
 - 解説に記載したい。
- ・ 補足説明資料の要求事項に、「被ばく低減及び放射性廃棄物の低減に留意すること」と書かれているが、標準とどのような関係か。
 - よう素であれば、4.3 放射性試料の取扱いなどが該当するが、手法の選定の過程で考慮しているが、記載について検討したい。

(6) 新分科会の設置について（STC8-7）

河井幹事からの炉心燃料分科会設置の提案について、代理として出席した矢野委員より、資料STC8-7に基づき説明が行われた。

審議の結果、炉心燃料分科会の設置が決議された。また、今後1週間、委員候補の追加推薦を受け付け、その後本日推薦された委員候補と併せてメール審議を行うこととなった。

主な質疑等は以下の通り。

- ・ 燃料の技術基準性能規定化については議論の場があるが、それを受けてどのような規格基準を策定するかはどのような場で議論するのか。
 - 電気協会の原子燃料分科会でも検討できる。ジルカロイについては機械学会でも検討されてきている。学協会規格は今後3年程度かけて整備していく必要があるが、どのような場で議論していくかはタスクで議論し、少なくともリコメンデーションは出したい。
- ・ どのような条件を整えばLUAが導入できるのかといったところについては是非議論して欲しい。
 - 分科会で良く議論して欲しい。

(7) 分科会の活動状況について (STC8-8)

事務局より、STC8-8に基づき、分科会の活動状況について報告が行われた。

(8) 標準委員会の活動状況について (STC8-参考2)

事務局より、STC8-参考2に基づき、標準委員会の活動概況について報告が行われた。また、「標準策定の手引き」の改定作業の状況報告が行われた。

(9) その他

次回システム安全専門部会については、3月2日（火）14：00～17：00に開催することとした。

以上